

視覚障害者を誘導する方法 ※



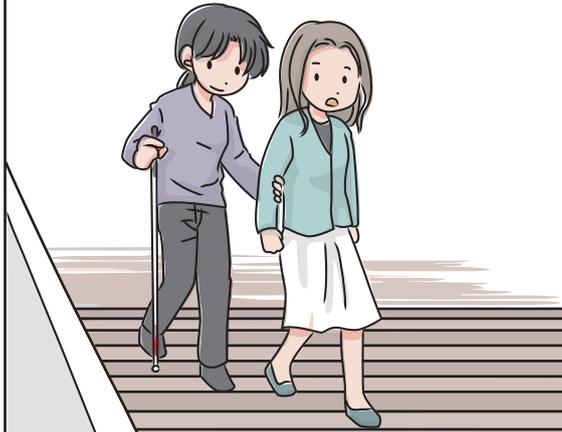
視覚障害者を見かけたら、積極的な声掛けをお願いします。視覚障害者には白杖を使ったり盲導犬を使ったりして歩いている人がいます。誘導する場合、肘もしくは肩を持ってもらい、視覚障害者の半歩前を歩くようにします。歩くときには二人分の幅をとってください。



☆椅子への誘導☆
椅子の形状を伝え、背もたれや座面に手を導き、確認のうえで座ってもらいます

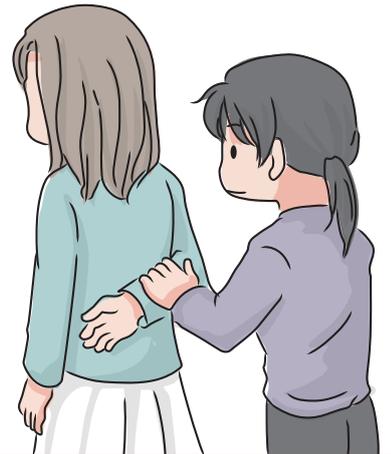


☆段差があるところや階段☆
小さい段差でも手前で段差や階段があることを伝え、一旦立ち止まってください。上りか下りかを伝え、一段先を歩きます



視覚障害者が最後の段に到着したら一旦止まって終わりであることを伝えてください
スロープも同様に、上りか下りかを伝えてから誘導してください

☆狭い場所を通るとき☆
狭くなることを伝え、一旦立ち止まってください。持ってもらっている腕を背中側に回し、一列になって通過します



通過したら一旦立ち止まり元の位置に戻ってもらいます

盲導犬について ※

盲導犬には声をかけたり触ったりしないでください。食べ物も絶対に与えないでください。

※盲導犬は身体障害者補助犬法で様々な場所で受け入れることが義務づけられています。アレルギーのお客様がおられる場合は、盲導犬ユーザーから離れた場所に案内するなど、双方が共に過ごせるように場所や時間を調整してください。

